

# 令和8年度事業概要

令和8年4月

国土交通省中部地方整備局

高山国道事務所

# 目次

1. 高山国道事務所のあらまし	
(1) 所管	1
(2) 管内図	2
(3) 令和8年度当初予算	3
2. 事業の内容	
(1) 改築事業	4
(2) 交通安全事業	10
(3) 維持管理	12
(4) 災害支援	18
(5) 観光地渋滞対策	19
(6) グリーンインフラ	20
(7) 道の駅	21
3. 事務所・出張所の連絡先	22

# 1. 高山国道事務所のあらまし

## (1) 所管

高山国道事務所は、飛驒地域における中部縦貫自動車道（高山清見道路、高山東道路）と国道41号（下呂市～飛驒市）の整備・管理を行っています。

中部縦貫自動車道は、東海北陸自動車道に接続し、関東、関西、東海、北陸との広域的な高速交通サービスを提供することにより、地域産業の発展に寄与しています。

国道41号は、太平洋側と日本海側をつなぐ幹線道路として、物流などの経済活動に欠かせない重要な役割を担うとともに、地域の生活道路としても利用されています。

高山国道事務所の管理延長は約150kmで、そのうち事前通行規制区間が約40kmを占めています。なお、事前通行規制区間とは、大雨や台風による土砂崩れや落石等の恐れがある箇所について、過去の記録などを基にそれぞれ規制の基準等を定め、災害が発生する前に「通行止」などの規制を実施し、道路を利用する皆様の安全を確保するものです。

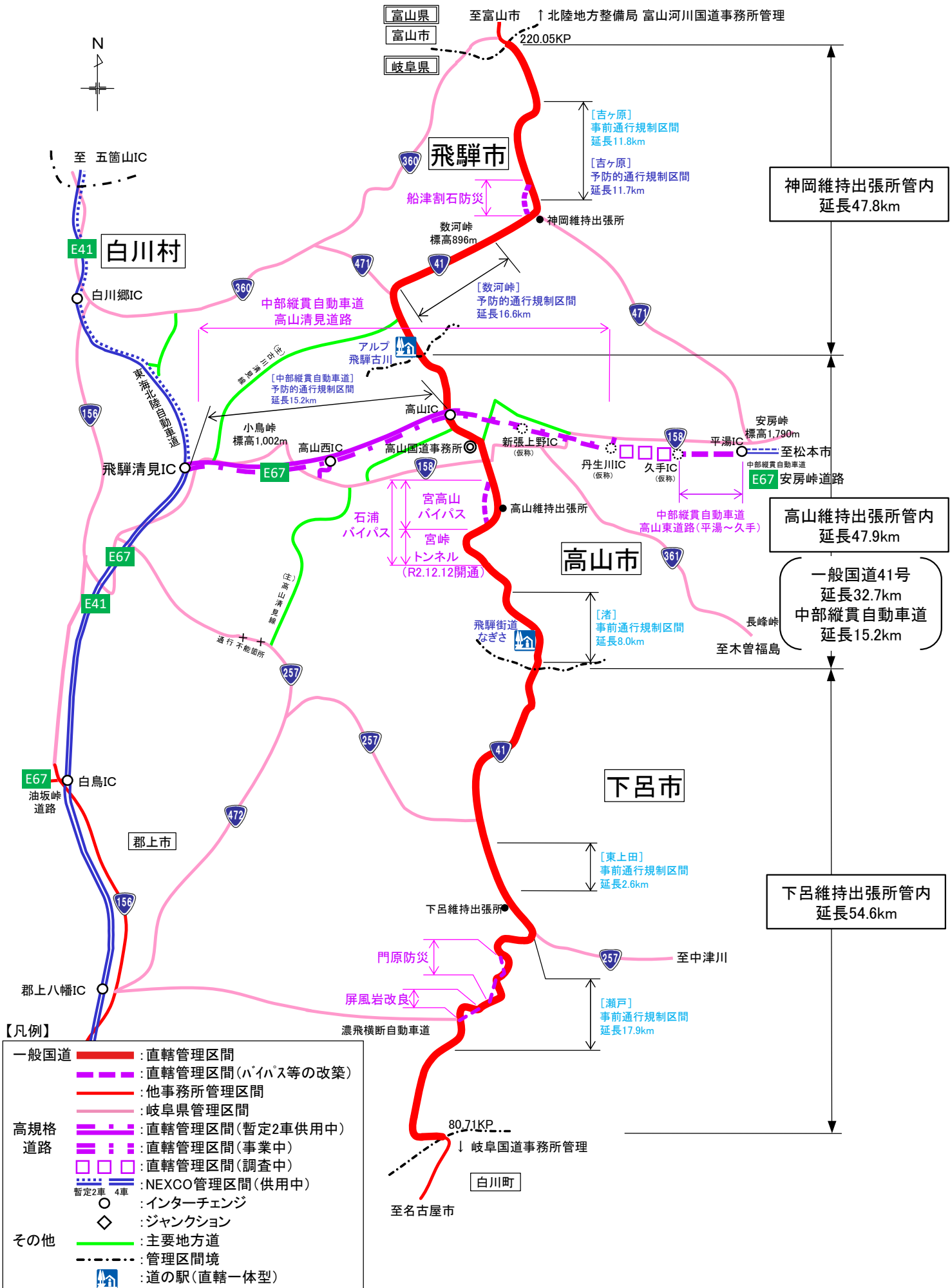
### 【管理区間】

路線	管理区間	延長
中部縦貫自動車道 高山清見道路 (国道158号)	高山IC～飛驒清見IC	15.2km
国道41号	岐阜県下呂市金山町～ 岐阜県飛驒市神岡町	135.0km

### 【事前通行規制区間】

路線	箇所名	事前通行規制区間	延長	通行止めの基準
国道41号	瀬戸	岐阜県下呂市金山町中切～ 岐阜県下呂市三原	17.9 km	連続雨量 150mm 換算連続雨量 100mm
国道41号	東上田	岐阜県下呂市東上田字栃洞～ 岐阜県下呂市東上田字小砂場	2.6 km	連続雨量 350mm
国道41号	渚	岐阜県高山市久々野町渚～ 岐阜県高山市久々野町無数河	8.0 km	連続雨量 150mm
国道41号	吉ヶ原	岐阜県飛驒市神岡町船津～ 岐阜県飛驒市神岡町東茂住	11.8 km	連続雨量 120mm

## (2) 管内図



### (3) 令和8年度当初予算

事業区分・路線名・事業名		事業費 (百万円)	事業内容
改築事業	中部縦貫自動車道 (国道158号)	たかやまきよみ 高山清見道路	3,001 関係機関協議、環境調査、水文調査、道路詳細設計、上切地区ほか改良工、岩井沢橋橋梁下部工、稲部谷高架橋橋梁上部工、坊方トンネル工
		たかやまひがし 高山東道路 ひらゆくて (平湯～久手)	150 関係機関協議、地質調査、環境調査、水文調査
	国道41号	いしうら 石浦バイパス	195 関係機関協議、環境調査、水文調査、道路詳細設計、石浦地区用地買収
		びょうぶいわ 屏風岩改良	423 関係機関協議、環境調査、道路詳細設計、保井戸地区改良工、新左近橋橋梁下部工
		かどはら 門原防災	1,081 関係機関協議、環境調査、水文調査、深谷地区移転補償、門原地区ほか改良工、門原1号トンネル工
		ふなつわりいし 船津割石防災	159 関係機関協議、環境調査、水文調査、トンネル予備設計、割石地区改良工、新吉ヶ原橋橋梁下部工
交通安全事業	210	かみおか 神岡地区歩道拡幅 工事推進	
電線共同溝事業	176	たかやま 高山地区電線共同溝 調査設計、本体工事等を推進	

## 2. 事業の内容

### (1) 改築事業

ちゅうぶじゅうかん

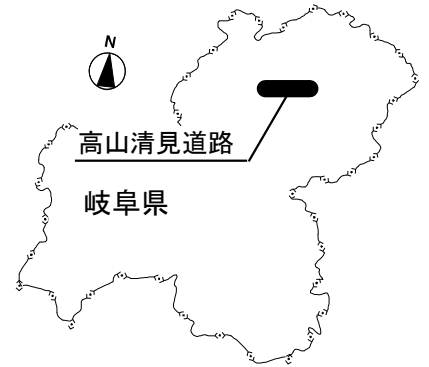
たかやまきよみ

#### ● 中部縦貫自動車道 高山清見道路

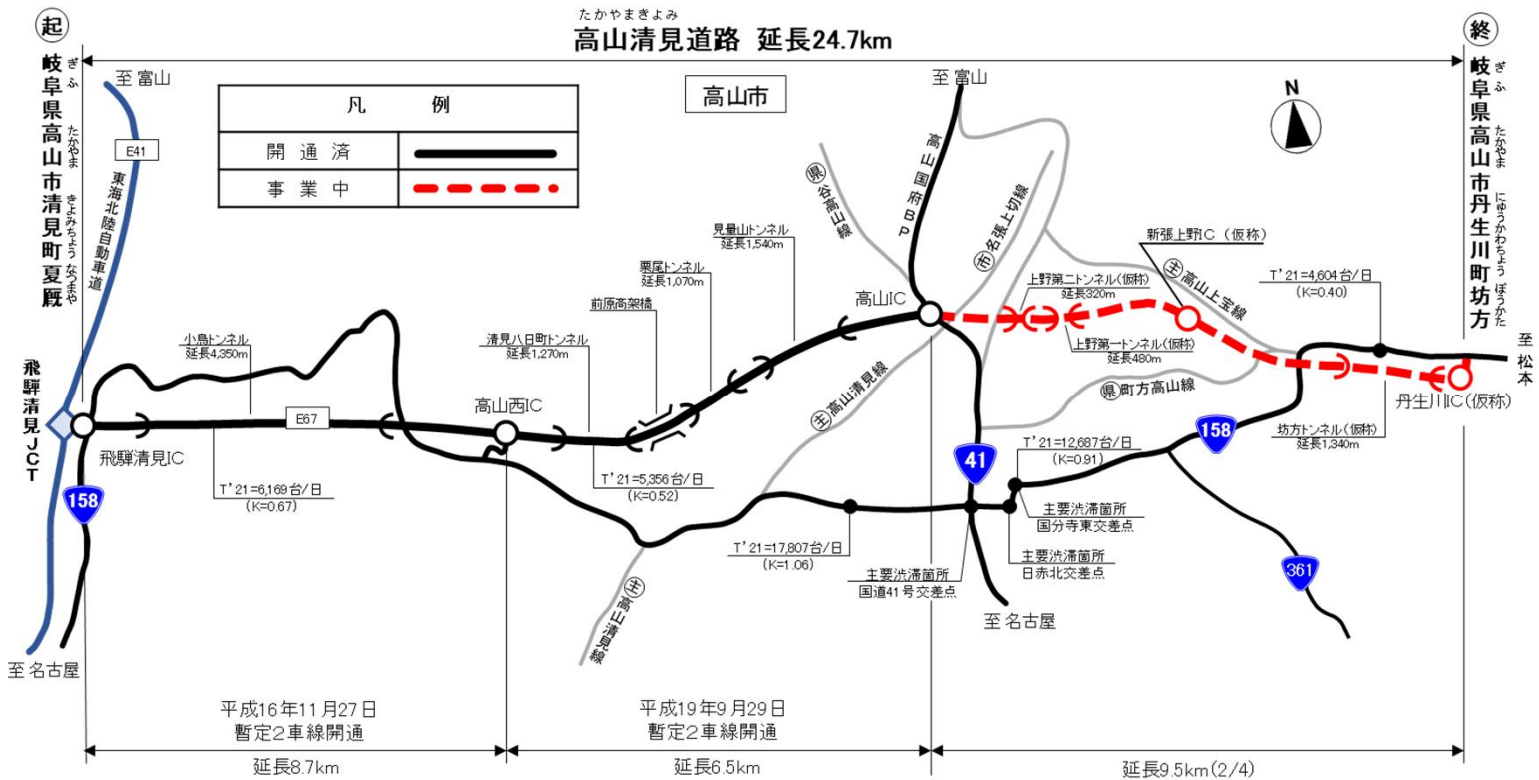
たかやまきよみ

ちゅうぶじゅうかん

高山清見道路は、高規格道路「中部縦貫自動車道」の一部を構成し、<sup>たかやま</sup>高山市内と<sup>とうかいほくりく</sup>東海北陸自動車道との直結による高速交通サービスの提供、市内の交通混雑の緩和、さらには地場産業振興などの地域発展の支援等を目的に計画された一般国道の自動車専用道路であり、平成4年度に事業化され、<sup>たかやま</sup>高山IC～<sup>ひだきよみ</sup>飛騨清見ICが開通済みです。



令和8年度は関係機関協議、環境調査、水文調査、道路詳細設計、上切地区ほか改良工、岩井沢橋橋梁下部工、稲部谷高架橋橋梁上部工、坊方トンネル工を推進します。



① 下切高架橋 (仮称)

至 (仮称) 丹生川IC

至 高山IC

令和8年3月撮影



② (仮称) 坊方トンネル

令和8年3月撮影

## <高山清見道路 新張上野インターチェンジ（仮称）>

R7年12月に中部縦貫自動車道高山清見道路において、高山市からのインターチェンジの連結協議を受け、国土交通大臣が整備計画変更を行いました。高山市、国土交通省が連携し事業を推進していきます。

### <概要>

路線名 : 中部縦貫自動車道 高山清見道路 丹生川IC（仮称）～高山IC間  
 設置場所 : 高山市丹生川町新張  
 形式 : 全方向（4／4）

### 整備効果 : 地域活性化の支援

- 現在、高山市では、新設IC周辺地域の活性化に向け取り組んでいます。
- 新張上野IC（仮称）の新設により、広域道路ネットワークからのアクセス性が向上し、物流の効率化・観光の周遊性向上などより、地域特性を生かしたまちづくりへの支援が期待されます。



### 整備効果 : 高山市街地へのアクセス性向上

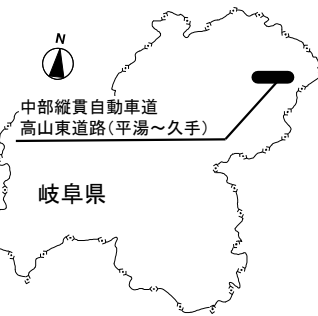
- 高山市街地へは国道158号を中心に交通が集中して混雑しています。
- 新張上野IC（仮称）の新設により、関東方面から高山市街地への経路の分散化や、混雑解消が図られ、市街地へのアクセス性が向上します。



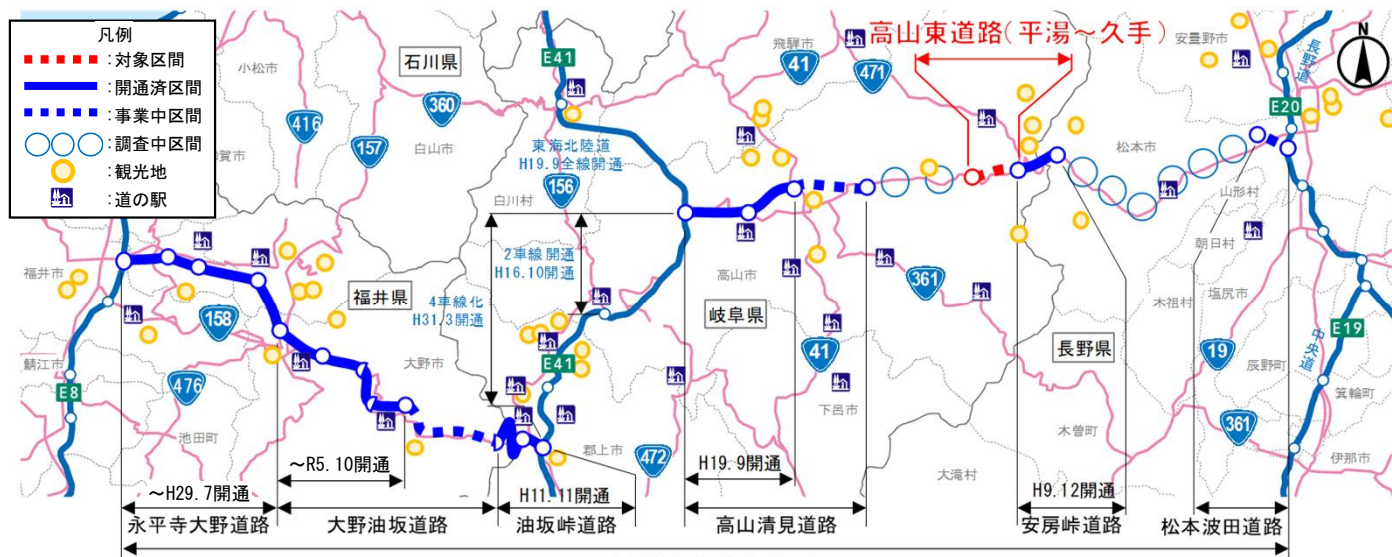
# ● 中部縦貫自動車道 高山東道路（平湯～久手）

中部縦貫自動車道の平湯～久手間において、線形不良箇所の回避及び高山市街地と岐阜・長野県境の主要な観光資源（上高地等）との移動時間短縮が図られ、観光周遊性の高いネットワークを構築します。

令和8年度は、関係機関協議、地質調査、環境調査、水文調査を推進します。



## ■ 中部縦貫自動車道と観光資源



## ■ 岐阜・長野県境の観光周遊ルート

### 中部縦貫自動車道

出典：R4福井県観光入込客数(推計)、R4岐阜県観光入込客統計調査、R4観光地利用客統計調査結果（長野県）より、中部縦貫自動車道・東海北陸自動車道沿線市町村で利用客数が10万人以上の観光地をプロット



▲高山市街地(高山まつり)

### ▼上高地

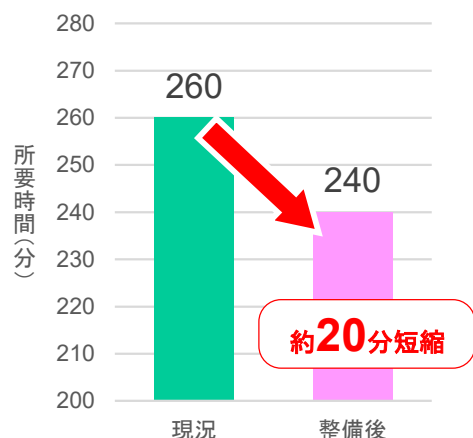


出典：中部山岳国立公園上高地ビジターセンターHP（環境省）

## ■ 高山東道路(平湯～久手)の整備による所要時間短縮

### ■ 周遊ルート

(高山市街地→新穂高ロープウェイ→上高地→乗鞍高原→高山市街地)の所要時間



出典：【現況】ETC2.0プローブ情報（2023年9月休日7-19時時間平均）

【整備後】未開通区間は設計速度を用いて算出（高山清見道路（高山～丹生川））・対象区間は設計速度80km/hとして算出

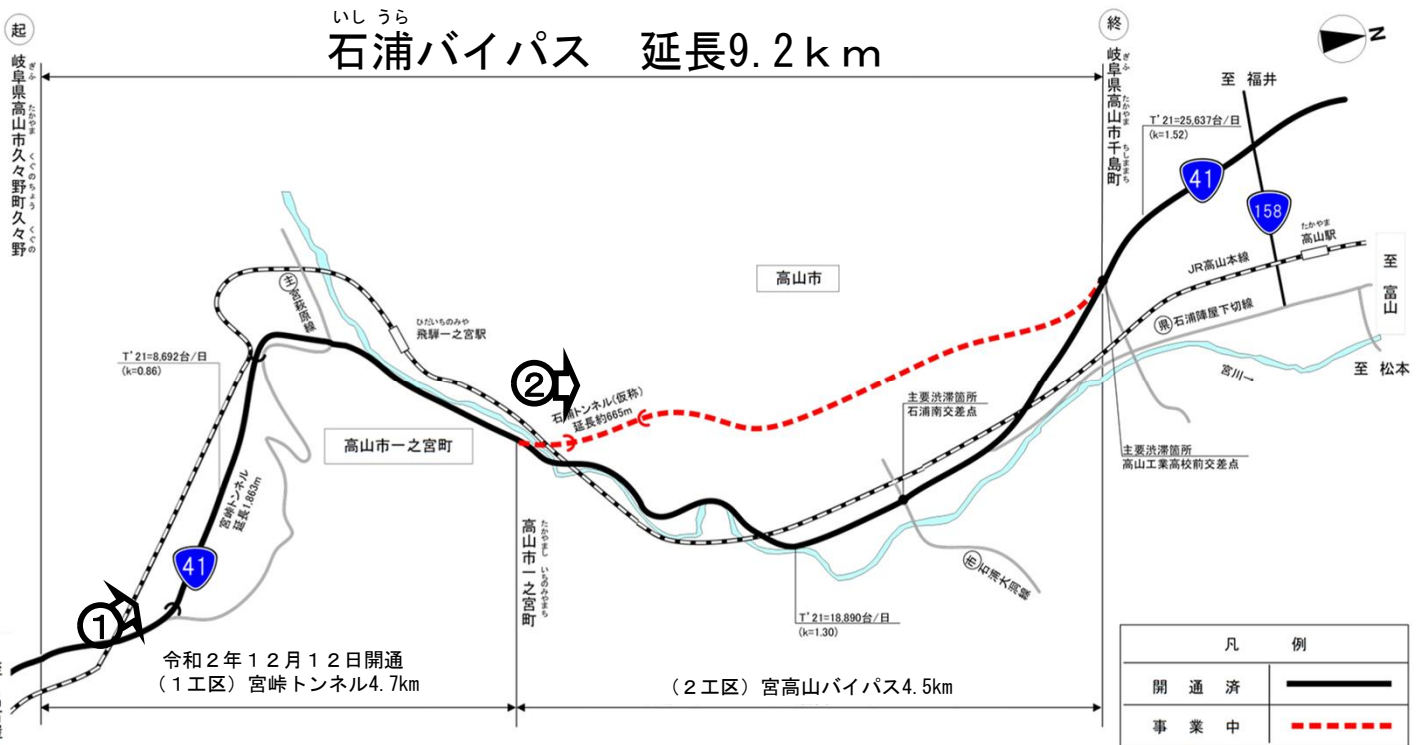
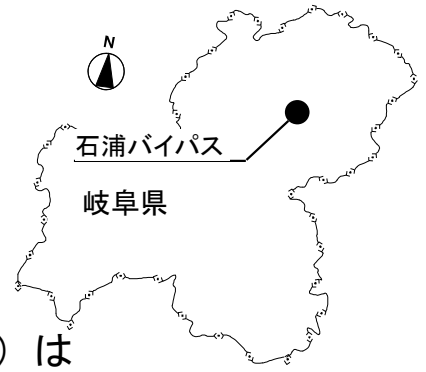
● 一般国道41号 石浦バイパス

石浦バイパスは、高規格道路「高山下呂連絡道路」の一部を構成し、飛騨地域の主要路線である一般国道41号の渋滞緩和、落石危険箇所の回避及び地域連携等を目的に計画された道路です。

宮峠トンネル（高山市久々野町久々野～高山市一之宮町）は平成15年度に事業化され、令和2年12月12日に開通しています。

宮高山バイパス（高山市一之宮町～高山市千島町）は平成12年度に事業化されました。

令和8年度は、関係機関協議、環境調査、水文調査、道路詳細設計、石浦地区用地買収を推進します。



①宮峠トンネル
バイパス開通で積雪時の宮峠区間や急カーブの回避が可能。



令和7年5月撮影

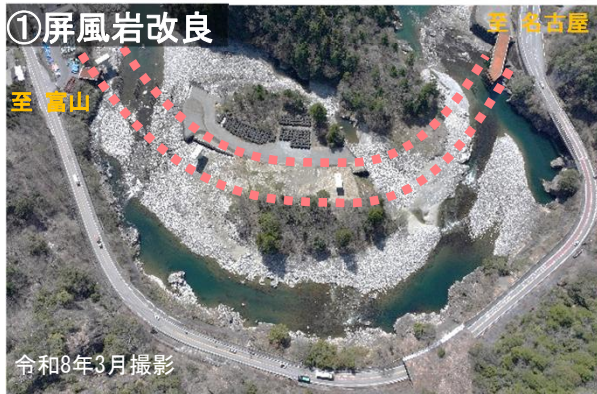
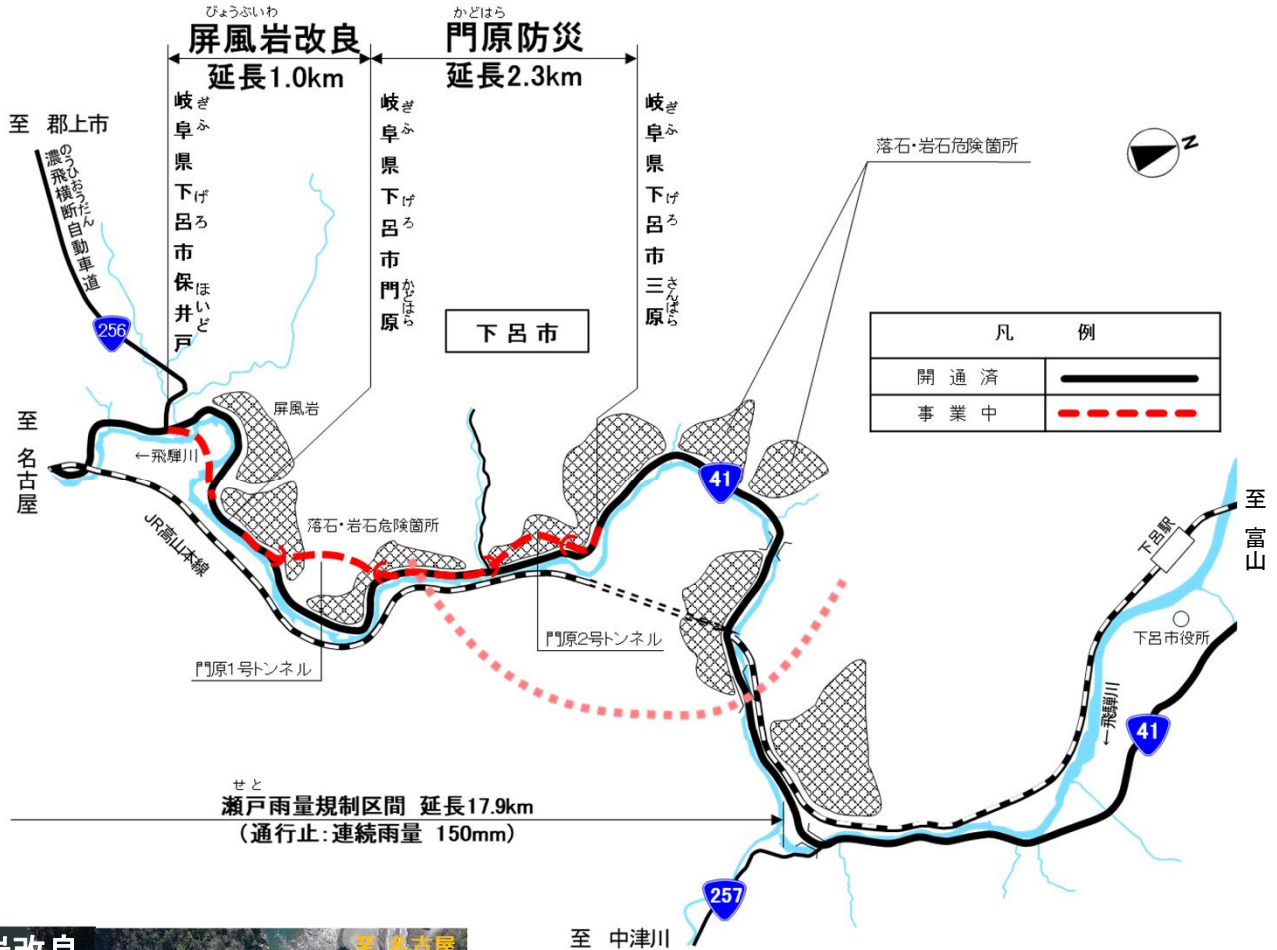
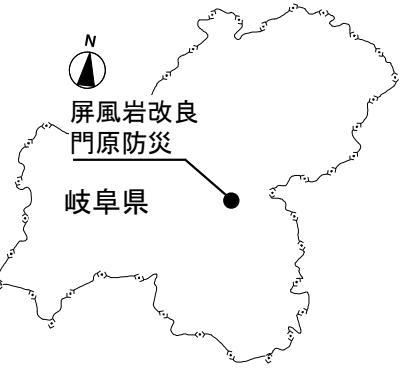


平成27年7月撮影

● 一般国道41号 屏風岩改良・門原防災

下呂市保井戸地区から三原地区までの現道の落石崩壊等の危険性が高い区間の局部改良事業として、屏風岩改良が平成17年度、門原防災が平成28年度に事業化されました。

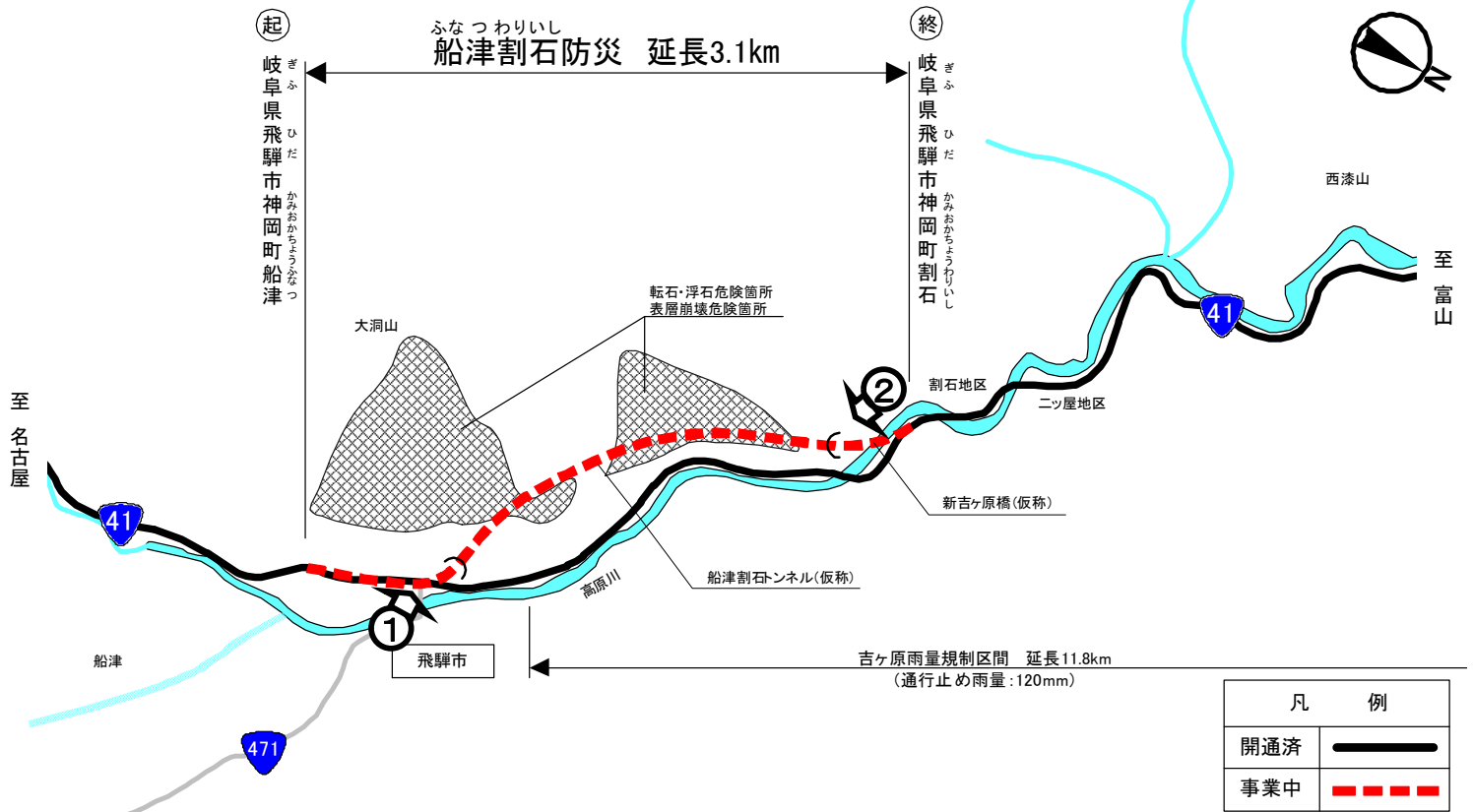
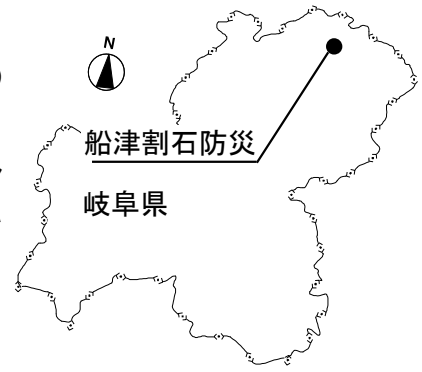
令和8年度は屏風岩改良、門原防災において関係機関協議、環境調査、水文調査、道路詳細設計、深谷地区移転補償、保井戸地区ほか改良工、新左近橋橋梁下部工、門原1号トンネル工を推進します。



● 一般国道41号 船津割石防災

船津割石防災は現道の落石崩壊等の危険性が高い区間の  
 局部改良事業であり、平成26年度に事業化されました。

令和8年度は関係機関協議、環境調査、水文調査、トン  
 ネル予備設計、割石地区改良工、新吉ヶ原橋橋梁下部工を  
 推進します。



平成27年6月撮影



令和8年3月撮影

## (2) 交通安全事業

### ● 交通安全対策事業（一種事業）

交通事故が発生している区間及び道路を利用される方々や沿道住民の皆様が、安全に安心して利用できる道路空間を目指し、国道における整備を行っていきます。

かみおか

### ■ 神岡地区歩道拡幅

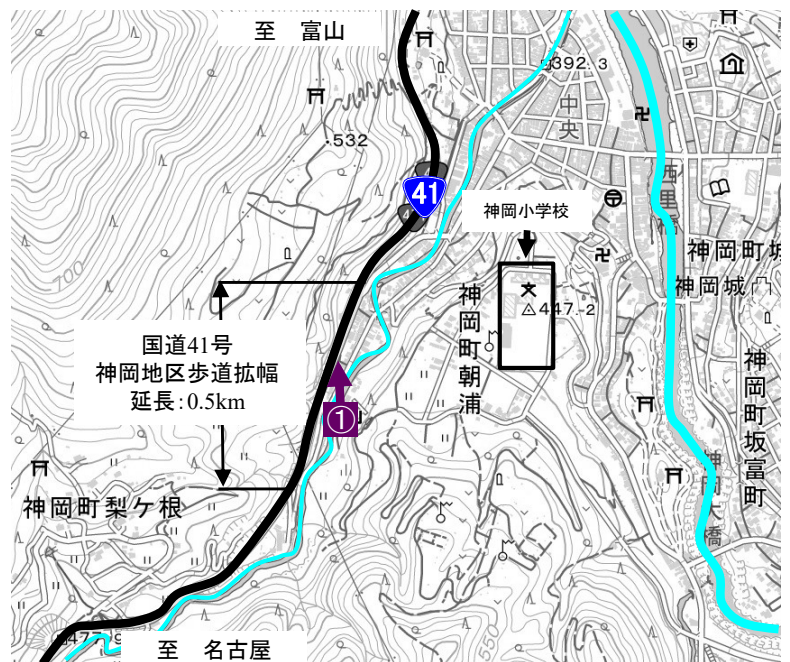
当該箇所は、冬期の除雪が著しく堆積するため、車道の堆雪帯と、歩道の拡幅整備を行い冬期における利用者の安全な通行を確保します。

令和8年度は工事を推進します。

神岡地区  
歩道拡幅



令和4年1月撮影



### ● 交通安全対策事業（二種事業）

道路標識、区画線、情報提供装置などの整備を行い、交通環境の改善を実施することにより交通事故の防止を図ります。



ドライバーへの注意喚起



路面表示による交通誘導



表示板による道路情報提供

## ● 外国人ドライバーにおける交通事故対策

降雪期における外国人運転手に交通安全対策を推進するため、交通障害対策会議を県警本部が主催で令和7年度に3回開催し、関係機関で覚書を締結。広報活動で事故防止を周知しました。令和8年度も継続して実施します。

取組		実施先
①啓発動画 ※	ホームページ	高山国道事務所、市町村、観光協会等のHP、公式youtube
	SNS	高山国道事務所Instagram等
	デジタルサイネージ	NEXCO中日本管内の高山、岐阜、羽島、多治見管内の休憩施設
②チラシ※		高山国道事務所、市町村HP、岐阜運輸支局
③県警による取組み		下呂市
④道路情報板の英語表記		高山国道事務所

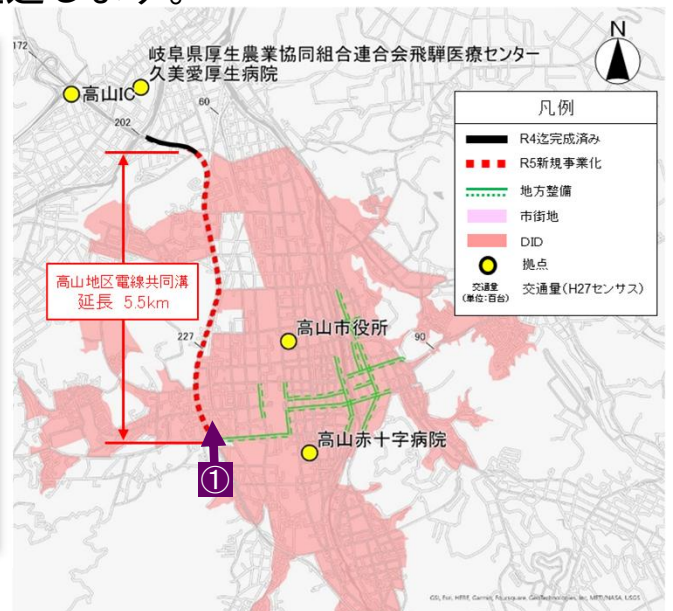
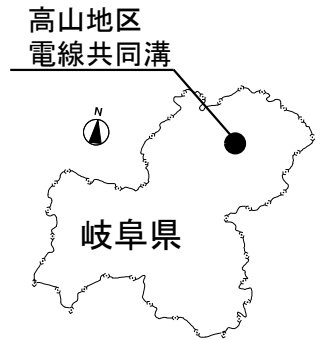


## ● 電線共同溝事業

### ■ 高山地区電線共同溝

岐阜県高山市上岡本町～冬頭町において、PFI事業と包括委託等により電線共同溝本体及び引込管路等の同時施工を行っています。従来施工に比べPFI事業や包括委託は事業のスピードアップを図ることが可能であり、早期に無電柱化を実現することで災害時における緊急輸送道路の確保、ならびに安全で快適な走行空間の確保を図ります。

令和8年度は調査設計、本体工事等を推進します。



### (3) 維持管理

高山国道事務所は国道41号（岐阜県下呂市金山町～岐阜県飛騨市神岡町）の約135.0kmと自動車専用道路の中部縦貫自動車道高山清見道路（高山IC～飛騨清見IC）の約15.2kmの区間について、道路の維持、交通安全施設及び防災施設の整備、異常気象時の交通規制、道路占用許可事務、特殊車両通行許可業務、道路附属物等の管理、ならびに巡視・点検等の管理業務を行っています。また、当事務所は3つの出張所を設けて、各区間の維持修繕、道路占用等の窓口を担当しています。

出張所	担当区間		延長
下呂維持出張所	国道41号	岐阜県下呂市金山町～ 岐阜県下呂市小坂町	54.6km
高山維持出張所	国道41号	岐阜県高山市久々野町～ 岐阜県高山市国府町	32.7km
	中部縦貫道高山清見道路 (国道158号)	高山IC～飛騨清見IC	15.2km
神岡維持出張所	国道41号	岐阜県飛騨市古川町～ 岐阜県飛騨市神岡町	47.8km

#### ● 維持管理

道路のパトロールによって発見された路面や道路施設の傷んだ部分は、安全・快適な通行ができるよう補修を行っています。また、除草や路面などの清掃を行い道路の機能を保持するように努めています。そして、道路を安全に利用して頂くために、トンネル換気設備や道路冠水を防ぐポンプ設備、道路情報板や道路を確認する監視カメラなどの施設・設備の整備・保守・点検などを実施します。

さらに、飛騨地域は積雪が多く寒冷な気候のため、大型除雪機械等を用いた除雪や、雪崩の危険性のある箇所には雪崩予防柵やスノーシェッドなどの設置を行うとともに、道路情報板やホームページ等による情報提供を行い、道路利用者の安全・安心の確保に努めています。



道路パトロールカーによる日常点検

道路の状況を把握し、安全に利用できるよう、路面や道路附属物（防護柵、照明灯・標識など）に異常がないか日常的にパトロールを実施して点検しています。

また、パトロール以外でも、橋やトンネル、土を盛って作った斜面、落石危険箇所なども定期的に点検しています。

## ● 除雪体制

除雪センターは、情報収集、除雪機械の格納及び整備、薬剤等資材の保管・補給、雪氷作業等を行うための最前線基地となる重要な施設です。

管内には8箇所の除雪センターを配置しています。

### 【除雪センターの配置状況】



### 【DX活用による除雪作業の効率化：新除雪支援システム】

除雪機械の位置情報ログ等を利用した日報、帳票作成補助、オペレーションの効率化を実現



### 【除雪作業の流れ】

除雪作業の流れ	除雪機械
<b>新雪除雪 (一次除雪)</b> ・道路に10cm (中部縦貫5cm) 以上、雪が積もる見込みがある場合、除雪を実施。 ・交通へ影響させないように、道路に積もった雪を一次的に路肩へ除去。	 除雪トラック 
<b>路面整正 (二次除雪)</b> ・車によって踏み固められた雪 (圧雪) を切り刃を路面に押し付け除去。 ・除去した雪を路肩に溜める。	 除雪グレーダ 
<b>拡幅除雪 及び 排雪</b> ・新雪除雪、路面整正によって、路肩に溜まった雪を排除。 ・雪による道路幅員の縮小を防ぐ。	 ロータリー除雪車  小型除雪機  スノーローダ
<b>凍結防止</b> ・気温が2℃以下になると路面凍結の怖れ。 ・道路路面の凍結を防ぐために、凍結防止剤を散布し、凍結防止・融雪を促進。 ・効果の持続時間は6時間程度。	 凍結防止剤散布車  凍結防止剤散布装置

● 予防的通行規制区間

高山国道事務所管内では、3箇所の予防的通行規制区間を設定しています。

予防的通行規制区間とは、大雪時に急な上り坂など車が立ち往生しやすい場所等を選定し、立ち往生が発生する前に道路の通行止め等の規制を行い、集中的・効率的に優先して除雪を行う区間をいいます。

近年、雪の降り方が猛烈なものになっており、道路上での大規模な車両滞留が全国で発生しています。

道路利用者や地域住民の方々の生命を最優先に除雪に取り組んで参ります。

路線	箇所名	予防的通行規制区間	延長
国道41号	吉ヶ原	岐阜県飛騨市神岡町船津～ 岐阜県飛騨市神岡町東茂住	11.7 km
国道41号	数河峠	岐阜県飛騨市古川町野口～ 岐阜県飛騨市神岡町堀之内	16.6 km
中部縦貫道 高山清見道路	中部縦貫自動車道	高山IC～飛騨清見IC	15.2 km



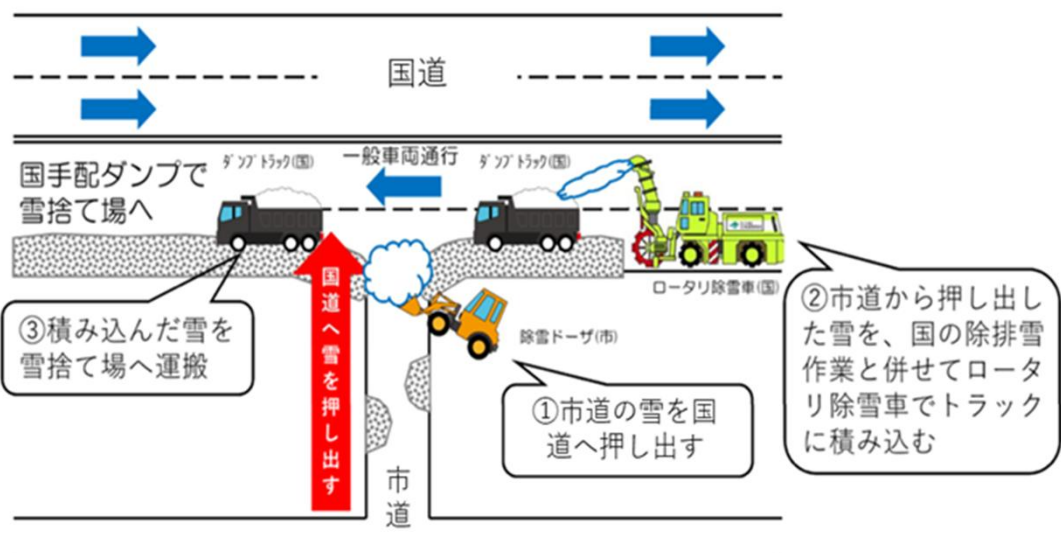
通行規制時の様子（国道41号）



集中除雪の様子（国道41号）

● スクラム除雪 **中部地整管内で初！**

高山国道事務所では、大雪時に地方自治体と連携した道路交通確保の取り組みとして、令和7年度より高山市と連携し、中部地整管内で初めてスクラム除雪（連携除雪）を実施します。



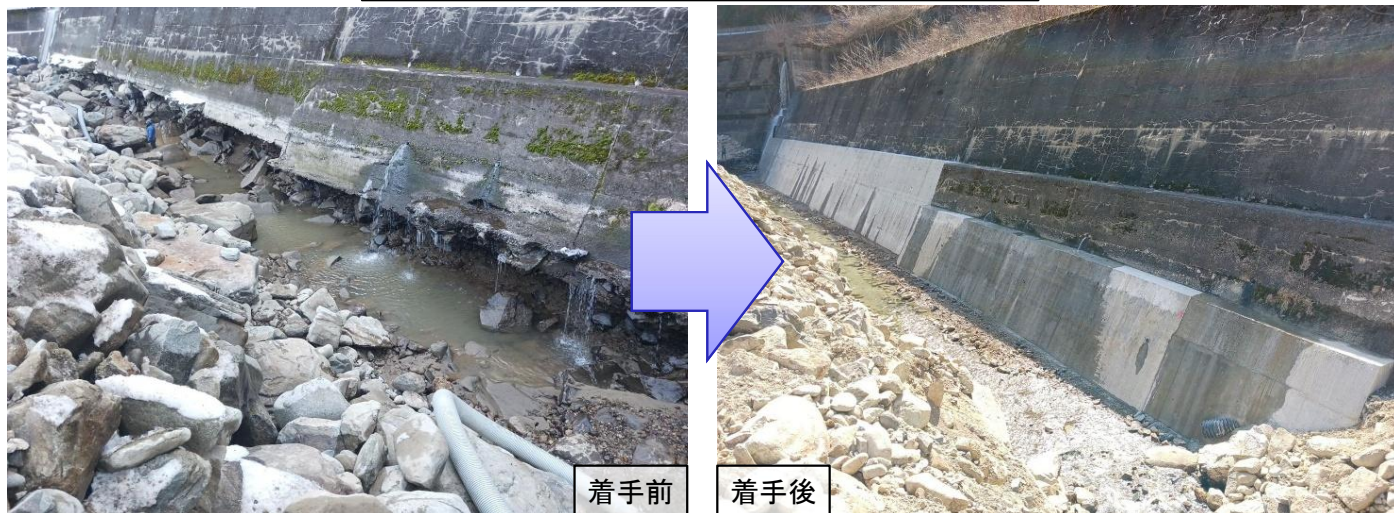
## ● 防災・減災

### ① 高山国道事務所としての防災・減災

高山国道事務所は、管内の事前通行規制区間の規制緩和を第一優先に、落石対策等の法面防災事業を重点的に進めます。

また、令和2年7月に下呂市門坂地区、令和3年8月に下呂市萩原町花池地区にて発生した国道41号道路流失と同規模災害に対し、河川隣接道路及び渡河橋梁の流失・洗掘対策等を重点的に取り組みます。

河川隣接道路の流失・洗掘対策(高山市久々野町)



### ② 被災箇所の迅速な復旧

令和7年6月、高山市一之宮地区において大雨により国道41号へ土砂が流入する災害が発生しました。発生後は速やかに復旧工事に着手し、令和8年3月に恒久的な対策工事を完了しました。

今後も防災・減災の取り組みを継続するとともに、自然災害発生時には迅速な応急対応および復旧を行っていきます。

災害恒久対策(高山市一之宮町)



## ● 将来を見据えたインフラ老朽化対策の推進

### ① 道路のメンテナンスサイクルの構築

我が国の道路構造物等は、高度経済成長期における集中的な整備等を経て順次ストックとして蓄積され、その機能を発揮してきたところです。

平成24年に発生した中央自動車道笹子トンネル天井板落下事故等を受け、構造物の維持管理を効率的・効果的に進めていくため、点検・診断・修繕等の措置・記録のメンテナンスサイクルが構築されました。

平成25年には道路法が改正され、橋梁・トンネル・シェット<sup>※</sup>等の道路施設について、5年に1回の近接目視による定期点検が義務づけられました。

※シェット：落石や崩土、雪崩や暴風雪から道路を保護するために道路を覆う施設

### ② 効率的な定期点検の実施

平成26年度から始まった5年に1回の定期点検は、令和5年度で全施設二巡目の点検が完了しました。令和6年度以降の三巡目定期点検からは、定期点検要領の改訂やこれまでの点検結果を踏まえ、道路構造物の点検の質の確保、点検の合理化に努めていきます。

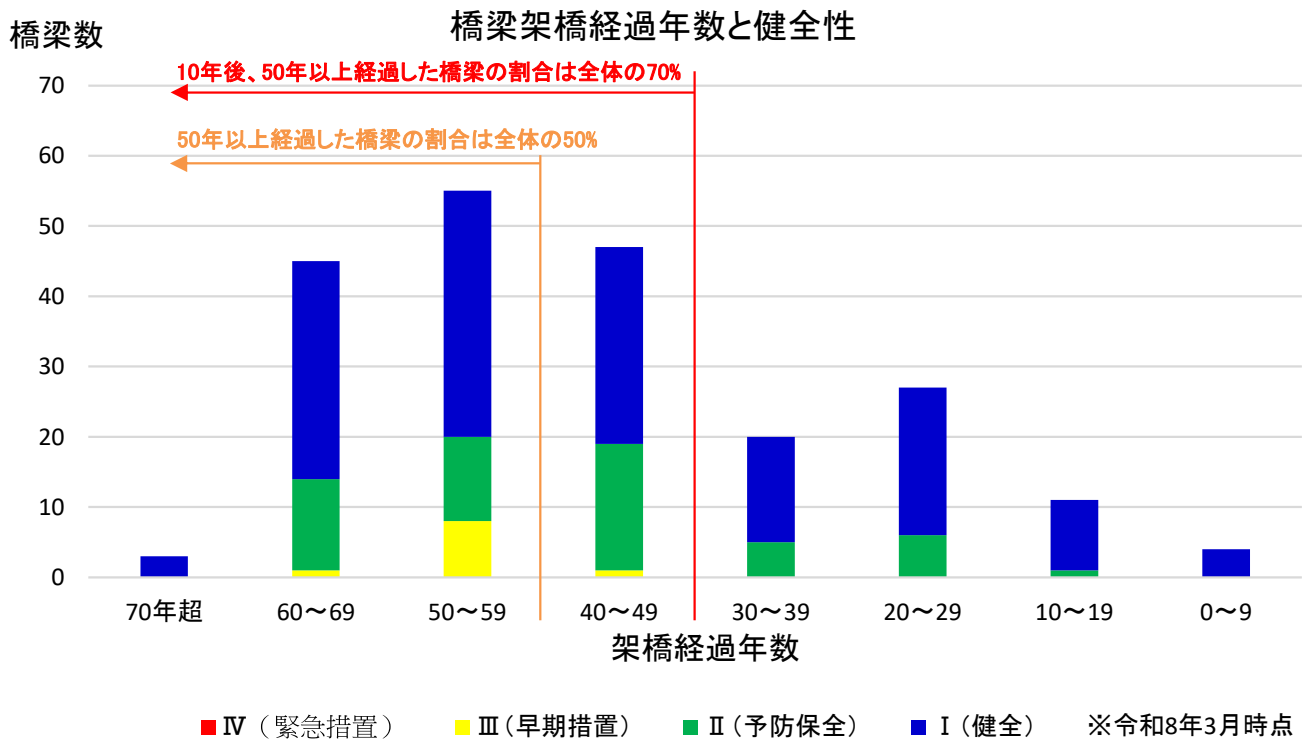


### ③ 高山国道事務所が管理する道路構造物の状況

高山国道事務所が管理する重要構造物の比率は、約50%が橋梁（212橋）、約40%弱がシェット（152基）となっています。

架橋後50年以上を経過した橋梁は103橋（約50%）で、10年後には約70%の150橋まで増加します。

これまで、定期点検結果から「道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態」にある橋梁の修繕に取り組んできましたが、管理する橋梁の健全性、安全性を高める目的から、橋梁機能に支障が生じる前の「予防保全段階」においても修繕を実施し、長寿命化を図ります。



高山国道事務所では中部地方整備局管内で約70%、全国直轄管理で約20%のシェッドを管理しています。

近年建設しているシェッドは主にコンクリート構造ですが、建設後40年以上経過しているシェッドは主に鋼構造となっています。

高山国道事務所管内は積雪寒冷地域であるため、冬期に凍結防止剤を多く散布しています。その影響により鋼製シェッドの腐食が顕著に進行していることから、部材の取替えや塗装塗替え等による老朽化対策を進めています。

また、防災施設であるシェッドの老朽化対策にも重点的に取り組み、落石や雪崩などから道路利用者のみなさまを守ります。

橋梁やシェッドのほかにも高山国道事務所が管理するトンネルについても老朽化が進行してきていることから、修繕を実施し、長寿命化を図ります。





## (5) 観光渋滞対策

### ● 観光繁忙期における渋滞状況

高山市や白川村は、国内外から多くの観光客が訪れる地域であり、特に高山祭やゴールデンウィークといった観光繁忙期では、市街地で著しい観光渋滞が発生しています。



道路の渋滞状況 (R7GW\_高山市)



道路の渋滞状況 (R7GW\_白川村)

### ● 飛騨地域渋滞対策検討部会

飛騨地域における交通・観光渋滞の解消と円滑な道路交通の実現に向けて、関係機関で構成された検討部会にて、対策内容を検討、実施し交通・観光渋滞の解消に努めています。



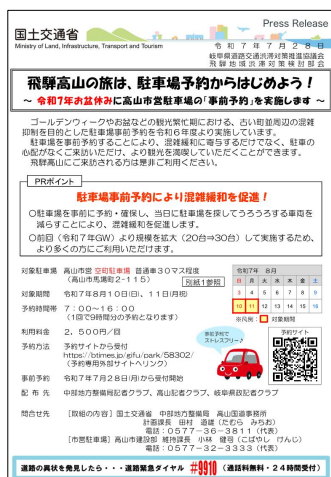
検討部会開催状況



経路分散による交通渋滞緩和の例

### ● 関係自治体との協働

観光渋滞の解消に向けて、関係自治体と協働し様々な取り組みを実施しています。



記者発表  
(市営駐車場事前予約制度)



市営駐車場事前予約制度  
(高山市と協働実施)

## (6) グリーンインフラ（飛騨高山高校との協働活動）

### ● “飛騨の森再生”の維持管理に関する協定の締結

中部縦貫自動車道高山清見道路事業において、環境改変に対する飛騨地域の豊かな自然環境保全対策として、高山西IC内にビオトープ“飛騨の森再生”を整備。平成22年7月1日にこのビオトープをフィールドとして岐阜県立飛騨高山高校と高山国道事務所が『“飛騨の森再生”の維持管理に関する協定』を締結。令和7年にビオトープ環境学習15周年という節目を迎えました。



協定締結（平成22年7月）

### ● 飛騨高山高校との協働によるビオトープ管理

ビオトープ環境学習として高校生が主体となって、ビオトープ内の動植物の生息、生育状況の調査、水質調査、維持管理作業など、高山国道事務所と協働で実施しています。また、ビオトープの親しみやすさ向上と、環境学習活動をさらに知っていただくため、環境学習15周年を記念して高校生たちが考案したキャラクター発表会も開催しました。当活動を通じて、自然環境とその役割を大切な資源として地域に伝え、身近にある飛騨地域の自然を豊にするため、今後も活動を継続していきます。



高山西ICビオトープ整備（平成16年11月）



高山西ICビオトープ整備（令和7年7月）



環境学習状況（令和7年5月）



ビオトープキャラクター発表会（令和8年2月）

## (7) 道の駅

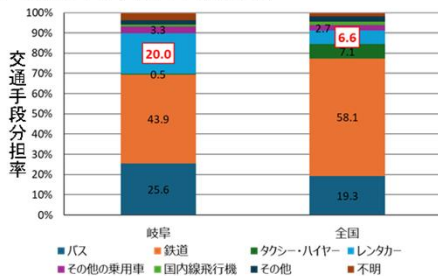


平成5年度に道の駅制度が創設され、令和5年度に道の駅30年を迎えました。令和2年度から道の駅第3ステージが始まり、「世界ブランド化」「防災拠点化」「地域センター化」の3つの姿を目指し、各施策の取り組みを推進しています。

### 【目指す姿①】 世界ブランド化

岐阜県は全国比率に対してインバウンドがレンタカーを利用して観光周遊する傾向が高く、道の駅に立ち寄る機会も増加しています。道の駅においても多言語対応、キャッシュレス化等を積極的、早期に推進する必要があります。

外国人観光客が利用する交通手段  
岐阜県は、全国と比較して外国人観光客のレンタカー利用率が高い傾向です。(2022年:約20%)



JNTO〔日本政府観光局〕は、平成24年度から外国人観光案内所の認定制度を運用しており、飛騨地域の道の駅としては2駅登録されています。

### 【目指す姿②】 防災拠点化

地域防災力の強化、広域的防災拠点化の機能を担うため、ハード・ソフト対策を強化した道の駅の整備が必要です。



### 【目指す姿③】 地域センター化

地域の課題解決や地域との協働、あらゆる世代が活躍の場となる道の駅を目指します。



## ● AIカメラによる利用状況把握

道の駅にAIカメラを設置することにより、大規模災害時における道の駅利用状況の把握、道の駅立ち寄り車を車籍地、立ち寄り状況、滞在時間等すること観光エリアへの来訪者特性や観光エリアの周遊傾向の分析を実施しております。



## 3. 事務所・出張所の連絡先



### 高山国道事務所

〒506-0055

岐阜県高山市上岡本町7丁目425番地

管理第一課 TEL 0577-36-3823

管理第二課 TEL 0577-36-3824

総務課 TEL 0577-36-3811

経理課 TEL 0577-36-3812

用地課 TEL 0577-36-3813

工務課 TEL 0577-36-3821

計画課 TEL 0577-36-3822

ホームページ <https://www.cbr.mlit.go.jp/takayama/>

### 高山維持出張所

〒506-0825

岐阜県高山市石浦町1丁目274番地

TEL 0577-34-3191

### 神岡維持出張所

〒506-1111

岐阜県飛驒市神岡町東町754

TEL 0578-82-1166

### 下呂維持出張所

〒509-2202

岐阜県下呂市森851番地1

TEL 0576-25-4701



国道41号(岐阜県下呂市金山町～岐阜県飛驒市神岡町)と中部縦貫自動車道(高山IC～飛驒清見IC)の道路気象・通行規制情報、凍結・積雪(予測)情報、降雨(予測)情報、通行規制情報等についてWebページで提供しています。

<https://www.cbr.mlit.go.jp/takayama/hidamichi/index.html>

道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル **#9910** (通話料無料・24時間受付)

道路緊急ダイヤル#9910はLINEでも通報できます

